

C

2023

OCTOBER

[第1993回]



フィンランドを代表する作曲家

ジャン・シベリウス

Jean Sibelius (1865-1957)

シベリウスは10歳の時にヴァイオリンに出会ってから、この楽器に惚れ込んでいたようで、当初はヴァイオリニストを目指していた。その後、作曲家になったあとも、よくヴァイオリンを奏でていたようだ。シベリウスが作曲した交響曲はどれも素晴らしい傑作ぞろいで、なかでも一番人気をほこるのが本日演奏される《交響曲第2番》。北欧の作曲家らしい、雄大なスケール感と、最後の輝かしい賛歌を堪能してほしい。



フィンランドの自然のなかで
ヴァイオリンを奏でるシベリウス
イラストレーション: ©IKE

アイノラ

成人してからフィンランドの首都ヘルシンキに住んでいたシベリウスは、38歳の時に妻や子どもたちとともに郊外へと移り住む。ヘルシンキまでおよそ40キロ程度のヤルヴェンパーの地に建てた家は、トゥースラ湖をのぞむ自然あふれるロケーションで、現在では博物館としておもに夏のあいだ公開されている。生来、自然のなかで過ごすことを好んだシベリウスはこの住まいをことのほか気に入り、妻アイノの名前をとって「アイノラ」と名付け終の住処とした。